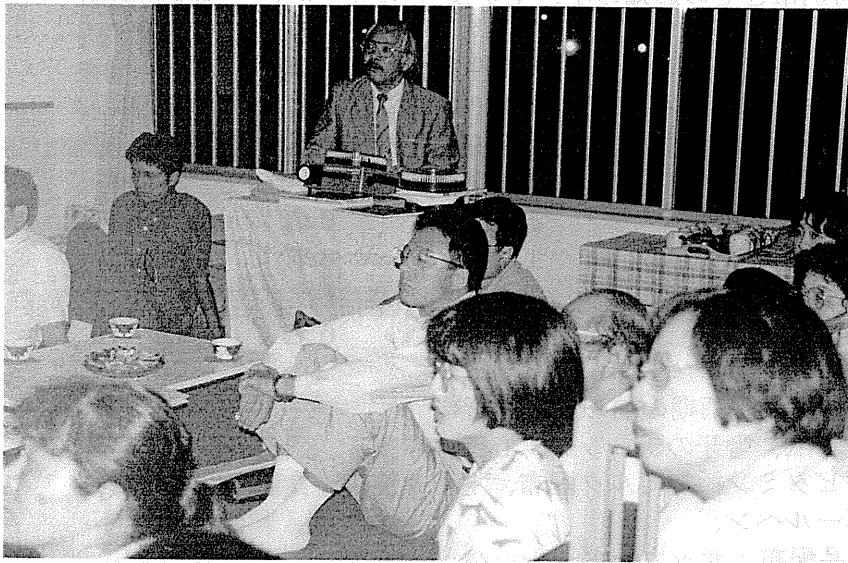




川野和昭氏の、熱のこもったお話に聞き入り興味深いスライドに見入る会員の皆さん。

平成 10 年 9 月 9 日に清水丘保育園 子育て支援センターにてじゃっど定期総会が開催されました。まず、平成 9 年度の事業報告を会長が行った。また、決算報告に伴い監査報告が安部良宣監査からなされ、業務ならびに経理が適正に処理されている旨、報告されました。

平成 10 年度 活動計画ならびに予算案については、繰越金が 753,914 円あることからそのうちの 50 万円の用途について特に詳しく審議がなされました。活動を衛生教育というソフト面で充実させたいのですが、現場ではどうしても学校設備の充実の要請が高く設備の補修を続けざるを得ないという会長からの説明から、用途を学校設備費用とし、その詳細については会長と現地医師ソムチット氏に任されました。11 月のツアーの時に話し合いを持ち、帰国後報告することになりました。

また、役員更新について承認を得ました。副会長 帖佐宗親氏 留任、Somthana 氏 留任、帖佐 徹氏 辞退、若松郁子氏 新任とし、監査役に安部良宣氏 新任 となりました。また、ラオス側で代表はこれまで通り Somthana 氏としながらも現在、会計、報告などの責任者 Somchith 氏を総務としました。

また、事務局に（有）寿泉堂からの人材無償提供（宮脇美智子氏）という形でお手伝いをいただき、佐藤章子氏、牧田知子氏、大山氏から無償ボランティアで事務局の仕事を手伝っていただきましたことの報告が事務局からありました。

総会は以上で終了し、黎明館学芸員 川野和昭氏から ラオスと鹿児島に共通する文化のお話がありました。熊本には無い鹿児島以南にしか見られない農作業道具がラオスと同じ形である事、ラオスの織物の形式が笠沙町以南と同じ織り方である事など共通点が多いことに驚きました。また、茅葺きの屋根がならんだ風景などスライドの中には懐かしい日本を思わせるものも多く大変興味深いお話でした。2 時間にも及ぶお話となりましたが、もう一度聞きたいという方も多かったです。ただ川野和昭氏と意見交換する時間を取れるようにしておけばもっと楽しかったのでしょうか。事務局は進行など反省が多く次回に活かしたいです。

お忙しい中、特に川内は綱引きを控え慌ただしい時期であつたにも関わらず 支援者の方々そして郵便局の方々のご参加くださいました。ありがとうございます。

平成9年度活動報告

1. リトルドクター プロジェクト

ラオス国 ビエンチャン特別市とその近郊の小、中学校 7 校を中心に小学生と教師を対象に衛生教育等の援助を行う。

対象校	児童生徒	教師数
1) ホンケ小学校 ビエンチャン	140名	6名
2) ドンカルム小中学校 パクグム郡	229名	11名
3) タドゥア小学校 パクグム郡	142名	6名
4) ノンサワン小学校 サイセタ郡	165名	6名
5) ナラート小学校 パクグム郡	140名	6名
6) カムノイ小学校 ビエンチャン	169名	6名
7) ソッカム小学校 ビエンチャン	195名	6名

1-1、9月新学期の健康診断、2月雨期の前の健康診断

健康診断：身長体重測定、爪、歯牙のチェック、心音、呼吸音、眼疾、皮膚疾患等
 駆虫薬投与、ビタミン添加ミルク配布、トイレ使用、食前手洗いの質問

文房具配布：ノート、ボールペン、

体育のためにスポーツ用品配布：サッカーボール、バトミントンセット、
 教師への指導、アドバイスなど

1-2、学校保健セミナー

平成10年3月14日 ナソン中学校で

平成10年3月21日 ビエンチャン特別市サイセタ郡の教育委員会オフィスで
 それぞれ25人ずつの教師と2名ずつの教育委員会職員を対象に行った。講師は医師2名が務めた。

このセミナーにより教師達は健康教育の知識を持ち、学校の活動を理解し、また他校の教師達とそれぞれの学校の状況と問題について話し合った。教師達へは健康教育の教材と体育の道具が配布された。

1-3、保健衛生指導の本

児童生徒用の小冊子

再版

教師用の学校保健衛生教育教本

(ユニセフの本等を翻訳し出版)

1-4、学校補修

ソッカム小学校 屋根、

ナラート小学校 壁、井戸、トイレのための給水設備

2、じゃっど活動視察ツアー

平成9年11月：会長のみが訪問、健康診断を一緒に行った。

平成10年7月：会長と3名が訪問

3、国内活動

8月19日～24日 じゃっどツアー報告会 写真展 鹿児島山形屋

10月4日 じゃっど総会 ツアー報告とタイ・カレー食事会を兼ねて

10月13日 熊本 NGO 懇話会 (牧田弘子)

10月18日 串木野 郵政省国際ボランティアのつどい 活動報告 (若松大介)

10月28日 鹿児島 郵政省国債ボランティア貯金推進協議会 報告 (帖佐理子)

11月14日 東京 ラオスで活動するNGOの集い主催 (帖佐理子)

他

6月25日 川内郵便局 郵政省国際ボランティア貯金に係る寄付金配分通達式

平成9年度 収支決算書 (平成9年7月1日～平成10年6月30日)

1 収入の部

前年度繰越	852,510
会員会費 (2,000 円×30 人)	60,000
寄付	174,697
机・いす募金	5,000
郵政省国際ボランティア貯金寄付金	810,000
会長負担	405,851
雑収入	11,846
受取利息	2,210
鹿児島県国際交流協会助成金	200,000
計	2,522,114

2 支出の部

ラオス活動費

郵政省からの配分金	810,000 円
健康診断 (人件費、交通費、検便)	
教材・書籍購入費	
衛生教育小冊子・教師用教本の印刷	
医薬品	
通信費	
鹿児島県国際交流協会からの助成金	200,000 円
学校保健セミナー	
じゃつど	150,000 円
学校校舎補修工事	
ガソリン費 (討議・指導の学校訪問)	
教科書	
写真、事務用品	
会合	1,160,000
会長負担 (ラオス渡航費用他)	405,851
ビエンチャンー鹿児島 2回 他	
計	1,565,851

国内活動費

広報	119,210
会合 (平成9年度総会)	4,144
交通費	10,220
写真	110
事務用品	14,026
ラオスの保育園へ・ユニセフの遊具	25,640
手形取立て手数料 (広島県相互扶助会 5 万円寄付)	840
通信費	28,159
計	202,349

支出合計

1,768,200

3、繰越

収入	2,522,114
支出	1,768,200
繰越	753,914

平成10年度事業計画

ラオスでの活動は、ラオス人医師たちの企画、実行ですすめられるようになった。日本側としては学校の修復などよりも、教育に重点をおいていきたいと考えるが、現地で実際に壁の無い校舎を見ると、ラオス人医師たちの校舎修復も必要という意見ももっともと思う。修復など建物関係は実際に見て、現地側と話し合う事が不可欠である。JADDO 視察ツアーを再開したい。学校保健活動に関しては、ビデオ、写真、小冊子や教師用の本から知ることができる。しかし、これも視察ツアー時に授業参観を行い、援助の効果の程度を見たい。

日本での活動は、広報や事務処理の方法を検討したい。

全体の事業内容はこれまでと同様とする。

1. リトルドクター プロジェクト

目的：子供たちが健康に小学校を卒業できる。

対象：ラオス ビエンチャン市内とその近郊の小学校7校の生徒と教師

内容：1) 健康診断；手、歯、心音、呼吸音、眼疾、皮膚、身長・体重測定
衛生に関する質問；トイレ使用？ 食事の前に手洗い？ シャワー
2) 駆虫薬の投与：Mebendazol 500mg を生徒と教師全員に 投与する。
3) ビタミン添加の牛乳 200ml を配布：ビタミンA 不足による夜盲予防
4) JADDO の学校保健セミナーで知った事を授業で活かしているか。
健康教育を行っているかを教師に質問する。教師からの健康に関する質問に答える。

5) 井戸、トイレの使用状況を見る。

6) 教師への学校保健セミナー

対象：ビエンチャン市内の小学校の教諭 100 名

講師：ラオス人医師

内容：基礎的な衛生知識・手洗い指導の実際・トイレ使用とトイレの清掃を考える・下痢の主な原因と食品衛生・安全な水の供給・寄生虫・ハエと蚊・ゴミ・住居の環境清掃

期待する効果：教師が衛生知識を向上させることができる。

教師が学校保健活動を理解する事ができる。

教師は各学校に衛生指導教材とスポーツ用品を持ち帰る事ができる。

セミナーで他校の教師と学校の問題について検討し合える。

7) 学校保健指導用の小冊子、教師指導用の本を印刷

カラー印刷でイラストを中心とした小冊子は生徒の授業で用いる。

教師指導用の本は学校保健セミナーで用いる。

8) 文房具供与ノート、ボールペンをラオスで購入し生徒全員に供与

9) 学校の修復

学校の建設とメンテナンスは生徒の父母により行われているが、充分では無いことが多い。雨季の終了後農閑期に父母達が工事を行う。資金は村長・学校長・婦人同盟等で結成してもらった組織に渡し、JADDO の現地担当者（ソムチット医師、コンサップ医師ら）が、視察し進捗状況を把握する。

ラオスの活動はソムチット医師が中心になり、企画実行される。学校保健の概念が無かったラオスで、日本人専門家の講義するセミナーからスタートした。現在はラオス人医師たちが講師となりセミナーを開催できるようになった。また、生徒用、教師用それぞれの学校保健の本を作製できた。今年度も印刷、配布する。配布はセミナー受講後とする。

国内活動

目的：ラオスでの活動を支える。会員へ報告する。

活動：机・いす募金、広報発行、講演、総会開催、事務

今年度は事務処理に協力者を探し、広報活動を活発化させる。JADDO ツアーの再開についても検討する。

平成10年度収支予算(案)

1. 収入

前年度繰越し	753,914
会員会費、寄付	400,000
机いす募金	125,000
代表者負担	400,000
郵政省ボランティア貯金に寄る寄付金	1,211,000
計	2,889,914

2. 支出

リトルドクタープロジェクト (ラオスにおける学校保健事業)	1,913,580
学校設備費用	500,000
国内広報	150,000
事務用品	30,000
総会 会場費、会議	30,000
通信費	50,000
予備費	216,334
計	2,889,914

役員更新

発足時

会長	帖佐 理子
副会長	帖佐 徹
副会長	帖佐 宗親
副会長	Dr.Somthana Duangmala
監事	若松 郁子

平成10年度

会長	帖佐 理子
副会長	帖佐 宗親
副会長	若松 郁子
副会長	Dr.Somthana Duangmala
監事	安部 良宣
ラオス側代表	Dr.Somthana Duangmala
総務	Dr.Somchith Akkavong

平成9年度ご寄付

森田由夫 様	18,000
若松大介 様	33,000
牧田弘子 様	10,000
広島県相互扶助会	50,000
桐原圭一郎 様	8,000
岩月洋孝 様	6,000
坂上恵子 様	8,000
江口様	856
うちわ様	40,841
計	174,697

寄付

森田由夫 様	18,000
若松大介 様	33,000
牧田弘子 様	10,000
広島県相互扶助会	50,000
桐原圭一郎 様	8,000
岩月洋孝 様	6,000
坂上恵子 様	8,000
江口様	856
うちわ様	40,841
計	174,697

ラオス活動費

郵政省からの配分金	810,000 円	
鹿児島県国際交流協会からの助成金	200,000 円	
じゃっど	150,000 円	
計	1,160,000 円	

郵政省からの配分金	810,000 円	12,144,800kip
健康診断（人件費、交通費、検便）		10,000B+485,730kip
教材・書籍購入費		4,511,600kip
衛生教育小冊子・教師用教本の印刷		5,311,500kip
医薬品		3,156,400kip
通信費		310\$+40,300kip
計	310\$+10,000B+13,505,530kip	

鹿児島県国際交流協会からの助成金	200,000 円	20,000 円 + 45,000B
学校保健セミナー		20,000Yen+48,509B

じゃっど	150,000 円	
学校校舎補修工事		4,071,800kip
ガソリン費（討議・指導の学校訪問）		172,190kip
教科書		198,000kip
写真		300,870kip
会合		110,500kip
事務用品		71,000kip
計		4,924,360kip

事務局からのお知らせ

今年度会費、ご寄付、つくえ椅子募金が全国から届きました。ありがとうございます。ラオスでの活動に有効に使用いたします。会費の自動振り替えは事務局からの案内が遅くなったために、来年度からの振り替えになった方がいらっしゃいました。ご面倒をおかけいたしまして申し訳ありません。

平成 10 年度会費納入ありがとうございました。(1998 年 9 月 28 日現在)

神田安代 様、上床久子 様、二木種生 様、藤井洋 様、伊東正樹 様、南 修 様、南 恭子 様、宮脇俊郎 様、岩崎岩男 様、田中律子 様、鳥居博行 様、坂詰恭子 様、徳田律子 様、桑原美智子 様、三重浩子 様、伊瀬地倫子 様、平山道子 様、鹿島 友義 様、松田一三 様、中村吉治 様、三本沢世 様、吉満祐市 様、橋口知章 様、神崎侯至様、知識友弘 様、山下 巖 様、藤田啓子 様、上床聖子 様、梅木多津子 様、上野昌子 様、上脇ゆきみ 様、今村久美子 様、横林宙世 様、鳥山信子、中村安秀 様、馬場 實利 様、松元 力 様、古田宣稔 様、木場吉彦 様、宇田川国男 様、竹田美浩 様、若松あつ 様、小牧三世子 様、中馬太郎 様、中馬美智 様、西村洋子 様、久木田泰子 様、土川京子 様、渡辺裕子 様、尻無浜むつみ 様、是枝久子 様、若田吉朗 様、諏訪元則子 様、岩月浩孝 様、岩月たち子 様、枇杷 繁 様、室屋熊次 様、室屋久喜子 様、古川孝子 様、菱刈昭郎 様、菱刈明子 様、杉原敏彰 様、黒江 豊 様、川添 寿 様、川添智恵 様、福永兼蔵 様、村松正夫 様、帖佐秀人 様、井之上忠男 様、宇井 豊様、鮎川睦子 様、萩永真佐子 様、米沢 静 様、松本貞治 様、和地平十郎 様、小池二郎 様、熊谷銀次郎 様、青山一正 様、小林義郎 様、前原よし 様、景山毅久雄 様、斎藤洋史 様、大月時子 様、森田由夫 様、川添 恵 様、松元美津子 様、土元みゆき 様、森田正人 様、宇津木和夫 様、宇津木和子 様、坂本直子 様、高野真綾 様、納 光弘 様、土山さなえ 様、鎌田 到 様、鎌田佳代子 様、豊平美和子 様、福永正子 様、黒岩聡子 様、鈴木忠夫 様、阿部雅昭 様、阿部貴美子 様、茂木純子 様、大熊京子 様、佐藤章子 様、安永健二郎 様、愛甲明美 様、小濱千枝 様、望月明子 様、鈴木琴子様姫野治子 様、牧田弘子 様、若松大介、若松裕子、若松郁子、帖佐宗親、帖佐 徹、帖佐理子

ご寄付ありがとうございました。(1998 年 9 月 28 日現在)

鳥居博行 様、鹿島友義 様、山下巖 様、小牧三世子 様、中馬太郎 様、久木田泰子 様、杉原敏章 様、若田吉朗 様、帖佐秀人 様、高野真綾 様、阿部雅昭 様、阿部貴美子 様、大熊京子 様、江口紀子 様、若松大介、若松裕子

机いす募金ありがとうございました。(1998 年 9 月 28 日現在)

神田安代 様鳥居博行 様、中村吉治 様、知識友弘 様、山下 巖 様、馬場實利 様、木場吉彦 様、竹田美浩 様、若松あつ 様、中馬太郎 様、中馬美智 様、西村洋子 様、尻無浜むつみ 様、是枝久子 様、若田吉朗 様、菱刈昭郎 様、菱刈明子 様、杉原敏彰 様、小池二郎 様、熊谷銀二郎 様、小林義郎 様、森田由夫 様、川添 恵 様、山口芳子 様、時村ヨシ 様、森田正人 様、山元或子 様、鈴木琴子 様、望月元博 様、望月明子 様、かごしま生協病院有志 様、小野隆広 様、小野真理恵 様、古田恵菜 様、福寄智美 様、中池 愛 様、山下瑞稀 様、鹿島友義 様、河野 彰 様、江崎俊晶 様、福山義和 様、佐熊秋男 様、青山三郎 様、若松大介、若松裕子、帖佐宗親、

机・椅子募金はツアー直前(10 月 29 日)まで受け付けます。どうぞよろしくお願いいたします。 ツアー参加は 9 月 27 日現在、女性 2 名と男性 2 名です。出発直前まで受け付けます。有効期間が半年以上あるパスポートをお持ちであれば大丈夫です。どうぞご連絡ください。